

大麻幼稚園 自己評価・学校評価の結果について

平成 23 年 3 月

1. 園の教育目標

子ども達が自ら課題を持って、力いっぱい遊びや仕事に取り組むことを大切にしながら、次のような子どもを育てることを目標に保育を進めている。

1. 自分のことは自分でする子ども
2. いつもにこにこ明るい子ども
3. だれとでも仲良く遊ぶ子ども
4. わがママをいわずがまんする子ども
5. からだのじょうぶな子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育要領教育課程、子どもの実態などを基に考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は日々の記録を参考にして、子どもの実態を把握し、日案の作成に反映させるようにしている。
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合う様に努めている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どもの良さを認め、教師が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友達と協力して遊べる環境を準備するようにしている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	園生活の一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会議等において提供し共有化を図るようにしている。

園便りや合同研修会を通して幼稚園の情報を発信していく。	園の教育方針や取り組みを情報発信するように園便りに記載し、積極的に取り組んでいく。
園の財務状況	公認会計士監査により、適正に運営されていると認めている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ◎ 教師一人一人が学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねてほしい。
- ◎ 施設面では環境整備に力を入れており、子ども達が安心、安全に遊べる環境になるように努力しており、概ね目標を達成できた。
- ◎ 保護者アンケートを実施し、幼稚園の見解と今後の見通しを伝えた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	現在、園便りや参観日などを通して保護者への周知徹底には取り組んでいるが、さらに進んだ情報公開として一般の方が利用しやすいホームページ等の活用も検討していく。
自己点検、自己評価	基本の項目を点検課題としてあげているので、各教職員においてはさらに課題を上げるようにして自己研鑽に取り組んでいく。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。

6. 学校関係者評価委員会の意見

望まれていた園舎改築も行われ、新しい環境のもとに子供たちも伸び伸びと生活しているという評価を得ている。